

2015 年度

インターンシップ・プログラム

プログレスコース

プロジェクト報告書

京都府教育委員会

実際の教育現場での学び

京都産業大学 坂口 都
京都女子大学 太田 有香

京都橘大学 白數 千明

1 演習校 宇治市立菟道小学校

2 演習内容

(1) 登校指導

(2) 学習指導

ア 学習の個別支援

イ 学習プリント・宿題等の添削

(3) 遊び活動

(4) 給食指導・掃除指導

3 演習を終えて

実際の教育現場に入らせて頂くことで、私たちが想像していた以上に教師の仕事の大変さ、難しさを実感することが出来ました。学校の1日の流れ、先生方の動き、児童の実態、学校の様子を近くで見て、教師の仕事や指導の意図、児童との接し方を学ぶ中で、教師の仕事の理解が深まりました。

授業に関して、私たちは全学年の授業を見学させて頂きました。学年ごとの児童の様子、先生の言葉遣い、発問の仕方など、先生方によって授業構成に特徴がありました。たくさんメモを取らせて頂き、今後の活動に生かせるようにしたいと思います。また、授業を見学しただけではなく、児童の前で本の読み聞かせや、児童と同じテーマに沿ってのスピーチなどをさせて頂きました。前で話すときの緊張感や、聞き手に興味を抱かせるような話し方をする難しさを感じました。

行事に関して、9月は運動会の練習を手伝わせて頂きました。5・6年生の組体操では、児童を絶対に落とさないように補助に入りました。多くの児童は限界が分かっておらず、無理をしてしまうことがあるので、先生方は、常に児童が落ちてきても抱えられるように、集中して補助に入っておられました。何より運動会を良いものに仕上げたいという先生方の熱意がとても伝わってきました。

校外学習では、消防署の見学に同行させて頂きました。普段の授業とは違うので、児童も気持ちが高ぶっていたように見受けられました。演習生も実際にはしご車に乗らせて頂くという貴重な体験をさせて頂きました。

授業中、私たちは主に個別の授業支援を行っていましたが、約30人という人数を見ることは手が回らず、苦戦しました。多くの人数を一斉に見るには、効率よく、広い視野を持って見ていく力が必要だと強く感じました。問題が分からぬ児童に対してわかりやすく説明すると、児童は「分かった」と言い、問題を解き始めました。その時の児童の「分かった」と言った嬉しそうな顔や、休み時間、給食、掃除と関わる中で、児童の優しさや、一生懸命頑張る姿に心が温かくなる場面が多くあり、児童の成長に携わることが出来る教師という仕事に素直にやりがいや魅力を感じました。今回の演習で、より一層、教師になりたいという思いは強くなりました。

向陽小学校での演習について

京都橘大学 戸本有香 龍谷大学 塚本忠

1 演習校 向日市立向陽小学校

2 演習内容

- (1) 午前 7 時 45 分から午前 8 時 10 分まで正門と裏門にて児童が登校してきた時にあいさつを行った。
- (2) 児童が学校にいる間の教師の仕事を体験した。
 - ア 児童が宿題を提出したすぐ後に宿題の丸つけを行った。
 - イ 机間指導において児童の学習の理解を促した。
 - ウ 授業の用意として配布物や道具の準備を行った。
 - エ 校外学習において移動の時児童が安全に目的地にたどり着く為に声かけを行った。
- (3) 児童がいない間の教師の仕事を体験した。
 - ア 毎週金曜日の放課後に行われる終礼に参加した。
 - イ 行事で使用する機材や道具の運搬を行った。
- (4) 放課後、その日に気になったことや学んだことなどのふりかえりを演習校の先生とサポートセミナーライ生とで行った。

3 演習を終えて

1 点目は、教師という仕事は大変多忙であること。なぜなら、様々な仕事をこなしながら、広い視野で児童の些細な言動や行動を見なければならないからである。例えば、一時間目が始まったと同時に授業と並行して丸つけを行わなければならない。先生によっては、学校に来てすぐに丸つけをしている方もおられた。他に、児童が教育上好ましくない言動を発した時には、即座に注意し今後言わないように指導していた。翌日の授業の準備をするために、夜遅くまで学校に残り仕事をされていた。教師の一日のサイクルを実際に目で見て、大変多忙であると感じた。

2 点目は、やりがいがあること。なぜなら、児童と接していく中で教師の言葉かけや態度によって、児童が小さな変化を見せてくれるからである。授業中に机間指導をしていると、問題の考え方方がわからず手が止まっている児童がいた。その児童に対して、答えではなく考え方のヒントを与えると「なるほど。」と言って解き進めていた。また、体育大会の演技の練習を放課後に残って練習をしている児童がいた。間違えやすい部分と一緒に何度も練習しその日の終わりには随分と上達していた。今回の演習で頑張ろうとしている児童を傍で応援出来ることが私たちのやりがいであった。また、教師のやりがいにも含まれることなのであると感じた。

3 点目に、実習を通して先生になりたいと思う気持ちが強くなった。1 点目でも述べたように教師という仕事は確かに多忙である。しかし、多忙であっても児童とのかかわりによってやりがいを得ることができる。このやりがいがあるからこそ、先生になって良かったと思うようになると考える。

以上より、もし私たちが将来教師になった時に、向陽小学校で感じたことを生かして取り組んでいきたい。

演習での学び

同志社大学 藤善愛

大谷大学 加藤静乃

龍谷大学 溝端勇輝

京都産業大学 寺田佐帆

1 演習校 宇治市立東宇治中学校

2 演習内容

教員養成サポートセミナー生として、中学校で6月から11月の期間様々な経験をさせて頂きました。演習内容は主に、ア：授業見学、イ：部活動の指導、ウ：学校行事への参加、エ：職員室での仕事の見学です。

ア 各々担当の教科の他、道徳や特別支援学級の授業などで生徒とのやりとりを間近で見させて頂き、レベルの異なる生徒たちに対し、どのように指導するべきか考えさせられた。

イ 部活動については、実際に指導させて頂く機会があり、クラスでは見ることのできない生徒の一面を見ることが出来たが、その一方で指導の難しさを痛感した。

ウ 学校行事については体育大会、合唱コンクール共に参加させて頂き、生徒一人一人に配慮した学級運営や生徒の立場からは見えない先生方の仕事量の多さに驚いた。また、本番で見た生徒たちの結束力や一生懸命な姿に感動した。

エ 学級運営のやり方は先生によって異なるが、学年単位また学校全体で毎日行われる職員朝礼や会議など様々なところで連携をとっておられ、多感な時期の生徒に寄り添う教育はこういった日々の積み重ねで生まれるものだと感じた。

3 演習を終えて

学校には、様々な個性を持った生徒たちがおり、先生の指導を見させて頂きながら実際に生徒たちと関わる中で、教え方や伝え方などでつまずきを感じることもあった。しかし、生徒たちとの関わり合いの中で言われた言葉に喜びややりがいを感じたことも事実である。この学びを通して得たものを活かし、「教師になる」という目標に向かって邁進していきたい。

「目指せオール5！～生徒からの通知表～」

京都文教大学	勝見 裕美	同志社女子大学	武部 真弓
京都女子大学	蒲田 真希	龍谷大学	日高 光壱
京都産業大学	阪本 航		

1 演習校 城陽市立西城陽中学校

2 演習内容

(1) 学級指導と部活動指導の支援（生徒との関わり）

ア 休憩時間、給食時間の生徒の実態把握

イ 学級活動時間の担当クラスへの参加、支援

ウ 部活動における生徒への指導、助言

(2) 授業見学と体験授業（授業技術）

ア 担当教科および担当クラスの授業見学、補助

イ 担当科目の指導案作成、体験授業

ウ 授業プリント、宿題の添削

(3) 体育祭の準備（行事の立案準備）

ア 体育大会練習の指導、助言

イ 体育大会の前日準備と当日の補助、後片付け

上記の演習のまとめとして、最終日に担当クラスの生徒から私たちを通じて評価してもらった。その結果を元に、自身の教師への適性や、長所短所を知るきっかけとし、自己の教師像を見つめ直した。

3 演習を終えて

初めての学校現場での演習は、私たちにとって驚きの連続であった。

担当学年、クラスでの演習が始まると、学年やクラスによって、生徒たちの雰囲気が全く異なることに驚かされた。まだ中学生になって日が浅い一年生は、好奇心旺盛で様々なことに興味を示す傾向が強い。また、三年生は最高学年である自覚が強く、自主的、自律的に行動が出来ていると感じた。もちろん、一人ひとりの人格や行動も異なるので、生徒との関わり方においては、一般的な理論だけでなく、その現場の文脈や取組を、よく考慮する必要があることに気付かされた。

また、学校行事においては、教師の役割は、生徒の指導だけでなく、事前準備や後片付けなど多岐にわたることを知った。先生方の連携や情報共有が行事の成功において非常に重要であり、行事の運営には私たちが考えていた以上の努力が隠されていたことを、身をもって実感した。

実際に現場に入ることで、私たちは、生徒や学校運営の実態を知ることができた。生徒指導のみならず、教科指導においても、生徒とコミュニケーションをとり、信頼関係を築くことが大切である。生徒との信頼関係なしには、円滑な学校運営は不可能である。先生方の弛まぬ努力が、生徒の生活を支えていることに気付いた。

この演習を通して得た気付きは、自己の課題を考え、教師として成長するための得難い糧となった。演習で得た経験を自身の強みとし、自身の思い描く教師像を明確化し、強い決意を持って教師への道を目指していく。